

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2022年12月22日

Nature:控え目に見ても100万人がコロナで死亡するおそれ：中国

【松崎雑感】

集団免疫が成立していない中国で、この冬は、未感染の人々、ワクチン未接種の人々を中心に重症者、死亡者が増えると懸念されています。感染そのものを非薬物的感染対策（国境閉鎖、行動制限など）で防ごうとすることは正当な対策でした。中国では、中央政府が国境対策とロックダウンを徹底的にしたなら、コロナは封じ込めるという考えでゼロコロナ政策を進めてきましたが、新型コロナウイルスの方が有効な生存戦略に転換したため、人間社会は、ゼロコロナから、「円滑な」ウィズコロナ対策への転換を強いられることになりました。ただし中国のやり方が良かったかどうか、日本のやり方が良かったかどうかについては、数年後でないと判断できないでしょう。

控え目に見ても100万人がコロナで死亡するおそれ：中国

Mallapaty S. **China COVID wave could kill one million people, models predict** [published online ahead of print, 2022 Dec 19]. *Nature*. 2022;10.1038/d41586-022-04502-w. doi:10.1038/d41586-022-04502-w

ワクチン接種、マスク着用、行動制限を強化して死亡を防止することが必要

ゼロコロナ政策をやめた中国では、この冬に100万人の死亡者が出るという予測がなされている。オーストラリア、ニューサウスウェールズ大学の感染症モデル専門家ジェームズ・ウッド氏は「中国が今後数か月大変な状態になることは避けられないだろう」と語る。

しかし、多くの人々に4回目のワクチン接種を行ない、マスク着用と社会活動の制限を再強化したなら、死亡の増加をある程度抑えることができるという推計も出されている。これらの対策は医療システムの負荷を減らすことにもつながる。

エール大学の経済学者で中国の医療システムを研究しているザイ・チェン氏は「死亡増加を避けることはできない話ではない」と語る。

この1か月で中国政府は、ウイルス拡大防止のための諸対策を緩和した。感染者が発見された都市全体をロックダウンする、感染地から非感染地域への旅行禁止、感染者の施設隔離などをやめた。

軽症あるいは無症状感染者の就労を許可した。検査の義務化はなくされ、政府の当局は無症状感染者数の発表をやめるようだ。

検査が任意となったため、公式発表の感染者数は11月末から減少している。しかし、感染者が急増している地域が複数ある。北京市の感染者はピークに達したと12月16日のプレプリント論文に述べられている。

4回目接種

12月14日のレビュー前のプレプリント論文では、今年初めの香港と上海のアウトブレイクデータから、中国が今後どうなるかの予測をいくつか出した。まず、規制の緩和で感染者が急増すると医療崩壊が起きる恐れがあるとしている。この結果100万人が数か月間で死亡するだろうと予測している。

しかしこの数は、新型コロナによる直接死亡だけをカウントしたもので、コロナ以外の疾患の診断と治療の遅れによる死亡は勘定に入れていない。

この論文では、もし人口の85%が4回目のワクチン接種（中国製の不活化ワクチンでなくmRNAワクチン）を完了したなら、感染と死亡をある程度食い止めることができるとしている。基礎疾患のある人々や60才以上の高齢者にくまなく抗ウイルス薬を投与することができれば、死亡を35%減らすことができると推計している。

メルボルンのモナシュ大学の感染症流行モデル専門家ジェームズ・トラウアー氏は「コロナの大きな流行が始まる前に、ワクチン接種率を高めることができたなら、中国の困難な状況を改善できる見込みがあるが、どれくらいの対策をすると、どれくらい効果があるかは不確定性が大きく、確実なことは言えない」と語った。

12月13日、中国政府は60歳以上の国民と基礎疾患のある人々が4回目の接種を受けるよう勧告した。国産ワクチンではなく、別の種類のワクチン接種を推奨している。しかし、60才以上の国民2億6千万人のうち、3回目まで完了しているのは60才以上の70%、80才以上の40%に過ぎない。

ウッド氏は、多くの行動制限が解除されてしまっている現在、4回目接種による感染防止効果に多くを期待することはできないと考えている。流行中のオミクロン株は、ワクチン免疫をすり抜ける能力が高いためである。

死亡者を減らす手立ては

別な推計では、現在の状態が続くなら、コロナ死亡数が来年4月までに50万人、来年末には160万人に達すると予測されている。全世界の新型コロナ発生状況を追跡して予測してきたシアトルのワシントン大学健康指標評価研究所は、3月末までに毎日9千人が死亡するだろうと予測している。

このモデルでは、行動制限を再開し、ワクチン接種率を上げ、基礎疾患のある人々に抗ウイルス薬を幅広く投与するなら、死亡者は29万人に、さらに、マスク着用徹底を追加するなら、23万人まで抑えられるかもしれないとしている。

中国はマスク着用の遵守率が高い。政府が行動制限を解除したことは、逆に、人々が自主的に行動制限を行うという効果をもたらした。

これら2件の研究は、死亡数の予測と対策の効果についてほぼ一致した結論を出している。いずれにしても、防ごうとしても防ぐことのできない大流行によって集団免疫が成立することによって、流行の激化が防がれるだろうというものである。